



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 64

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 64. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1958, 64: 55-59

ISSUE DATE:

1958-01-08

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186803>

RIGHT:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興會

## 水族館月報

No. 64

謹啓

1957.12月(1958.1月8日)

### 録 事

かねてより、本会で計画中の臨海浦販賣宿舍の建設計画につき、その承認を求めるため、12月3日京都大学楽友会館で開かれた財団法人京都理学研究所理事会に、本会を代表し生駒監事が出席した。席上、実験所より提出された該土地の瀬戸部より寄附され現在までの経過を報告するとともに、該土地に宿舍建設の上、京都大学に寄附する件を申出たところ、無事可決承認の旨報告に接した。

よって24日宮地会長は設計を依頼した山本課長同道で来白、現場を視察、見積合せの後、白浜町佐賀野仙吉氏に金3042,000円の工事を請負わすことに決定、25日正式に契約した。とりあえず手付金として1200,000円前渡し、爾后追加工事ある場合は、多少総額において加算される者。

なお水族館改築の件は工事予算の都合上早期完成が望めないで、止むなく2〜3年計画で進むこととし、先づ来年度以後とする方針で実現化することを申し合せた。  
(二階の建設に着手し、屋上と外装は来年度)

23日より実験所構内の水道工事始まる。正門より東北隅まで全長1185mの間に3インチ管を敷設、26日埋設を終ったが、途中が未工事のため水が通うのは2月頃となるだろう。これが工事分担金として町側より臨海地区に1,000,000円の金額が提示され、28日これが配分につき打合せを計画したが、一部の反対で遂に物別れとなる。

前号に報じた明光バス会社発行の観光券の未回収金は、番所山植物園の分も含めて、既に4,000,000円を越えるに到った。契約受取期の3月を眼前にひかえているので、之が対策を講ずる必要がある。

忘年会は28日湯崎ホテルで催された。

24 日前委員塚本健一氏に規定に基づき慰労金 6,000 円を本会より贈呈した。

25 日実験所より発行された欧文研究報告第 6 巻第 2 号は故雅賢弥之助氏に献じられ、巻頭に宮地所長の追悼記が掲げられた。

元水族館の職員であり、また前瀬戸部長として臨海浦土地の寄附に功績あった南庄五郎氏が、27 日はからずも不起の客となられた。謹んで哀悼の意を表する。

## 業 務 概 況

### ◎ 12 月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	3229	64678	7485	135136	10714	199814
小 人	115	5769	118	3955	233	9724
団 体	4289	106340			4289	106340
合 計	7633	176787	7603	139091	15236	315878
無料入場者					0	1153

団 体：一般 40 組、学生 2 組 計 42 組

### ◎ 12 月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金	284,397	5,764,616
予金積立金利子	—	366,000
雑 収 入	40	1,915
魚 糞 押 下	—	19,300
計	284,437	6,151,831

◎ 12月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	177,101	773,088	胡亦勤勤手当支給
会 議 費	—	71,078	
備 品 費	—	65,250	
消 耗 費	17,928	111,057	
事 業 費	63,655	499,607	
維 持 費	21,510	193,552	南海岸工事他
其 他 諸 経 費	22,722	211,823	依託事務謝礼他
積 立 金	59,847	1,178,011	
合 計	362,763	3,103,466	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	60,000	
奨 励 金	8,000	65,000	
備 品 費	23,400	284,599	泡沫消火器ストローヴ
消 耗 費	24,800	25,400	寫真材料
刊 行 費	—	227,795	
役 務 費	—	130,000	
合 計	56,200	792,794	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	54,190	214,426	
備 品 費	16,010	283,630	泡沫消火器ストローヴ
消 耗 費	580	7,110	
役 務 費	—	18,660	
合 計	70,780	523,826	

臨時費

摘 要	金 額	累 計	備 考
宿舍敷地整地工事	31,000	656,254	
合 計	31,000	656,254	

支出合計	(今年度累計)	
水族館経費	362,763	3,103,466
実験所経費	56,200	792,794
博物館経費	70,780	523,826
臨時費	31,000	656,254
計	520,743	5,076,340

◎ 12月現在高

前月からの繰越	3,687,909
今月の収入合計	284,437
今月の支出合計	520,743
現在高	3,451,603

◎ 前年度との比較

	1956	1957	増減
入湯者数	12706	15236	+ 2530
売上金	240,750	264,397	+ 43,647
支出金	414,036	520,743	+ 106,707

## 水族館記事

- ◎ 水槽内の魚族は12月にしては割合に賑やかで、観客の数も前月よりややもちなおした。
- ◎ 1956年8月28日 入槽のシオ1匹が7日死亡。
- ◎ アカウミガメの仔が11日2匹、30日2匹と死亡、現在10匹生存。
- ◎ カノコイセエビが16日1匹、28日4匹入槽したが、3日、12日、24日に1匹づつ死亡した。
- ◎ 17日入槽のモンダゴ1匹は18日水槽より這い出して死亡。
- ◎ 17日2匹、22日2匹 入槽したツノタシは19日～26日までで全部死亡した。
- ◎ 28日 ハマ42匹入槽。
- ◎ 28日、29日に大きいマダイが2匹入槽した。
- ◎ 29日 ルリハタ1匹が死亡。

## 博 物 館 記 事

- ⑤ 原田研究員は8日再びトロール船南運丸に同乗し、前面とほぼ同一地帯でトロール採集物を得てかえった。
- ⑥ 20日 大阪市立自然科学博物館長筒井嘉隆氏同館学芸員堀勝氏来所。同館の新館移転による開館式に展示のため時間委員採集のトカラ採集品の一部を貸出した。

## 資 料

- ⑦ 12月の気象 (9時観測)  
南水槽室 (水温・比重はNo. 25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数 (15)	3	5	7
室 温 (°C)	$\frac{12.7 \sim 15.6}{14.1}$	$\frac{11.4 \sim 14.6}{13.5}$	$\frac{8.3 \sim 14.3}{11.8}$
水 温 (°C)	$\frac{16.15 \sim 19.06}{18.07}$	$\frac{16.74 \sim 18.56}{17.43}$	$\frac{14.12 \sim 17.55}{15.59}$
比 重 ( $\sigma_{15}$ )	$\frac{25.18 \sim 25.86}{25.44}$	$\frac{24.36 \sim 25.71}{25.12}$	

海水取入口

水 温 (°C)	$\frac{17.94 \sim 20.02}{18.89}$	$\frac{16.74 \sim 20.23}{18.41}$	$\frac{14.74 \sim 18.05}{15.92}$
比 重 ( $\sigma_{15}$ )	$\frac{25.25 \sim 25.59}{25.43}$	$\frac{25.27 \sim 25.75}{25.45}$	

昭和 33 年 1 月 8 日 (No. 64)

編集兼  
発行者

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸海実験所振興会  
和可山県白浜町  
瀬戸海実験所内  
(Tel. 白浜温泉 515)